

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	6	課題区分	C	令和6年3月1日	
横断的な課題	諏訪湖創生ビジョンの推進					諏訪地域振興局	
地域重点政策	諏訪湖創生ビジョンの推進						
実施機関	諏訪地域振興局			担当課	所属	環境課	
事業名	水辺の昆虫モニタリングと保全に向けた啓発事業				電話	0266-57-2952(内線2541)	
					E-mail	suwachi-kankyo@pref.nagano.lg.jp	
事業の概要等	目的 (目指す姿)	諏訪湖創生ビジョンの指標水生動物に位置付けられている絶滅危惧種のメガネサナエ(トンボ)のモニタリングにより、諏訪湖周辺での生息状況を把握するとともに、地域での啓発により、生態系保全、諏訪湖及び流入河川の環境保全に向けた意識を醸成する。					
	現状と課題	諏訪湖創生ビジョンの指標水生動物であり、絶滅危惧種のメガネサナエの生息状況を継続して把握する必要がある。また、地域全体でメガネサナエを保全する気運を醸成することで諏訪湖及び流入河川の環境保全を図る必要がある。					
	内容 (変更後の内容)	流入河川におけるメガネサナエの成虫調査及び諏訪湖湖岸の羽化殻調査を継続し生息状況を把握しつつ、令和4年度に作成したリーフレット等を活用し、学校での学習(7/18及び11/21(2回)の計3回)、環境イベント(5/15~21、8/11及び10/1の計3回)での周知啓発を実施し、諏訪湖及び流入河川の環境保全を図った。 また、メガネサナエの保全に向けては、地元区の方の理解が重要なことから、地元区の関わり方や区の親水公園のあり方や、更なる啓発方法・内容の検討を1/10開催の会議にて実施した。					
	事業期間	令和5年6月		～	令和6年2月		
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額	備考			
	メガネサナエの調査	成虫調査3回、羽化殻調査1回の実施	9,840	専門家旅費((1,360円+1,100円)×4回)(総務事務システムへ配当希望)			
	啓発方法・内容の検討	啓発方法・内容の検討会1回の実施	2,460	専門家旅費(1,360円+1,100円)(総務事務システムへ配当希望)			
	合計		12,300				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	学校での出前講座等への参加者数		30人	88人	◎ 達成		
	環境イベントへの参加者数		1,000人	1,100人	○ 一部達成		
					○ 未達成		
事業実績・成果	<p>令和5年7月14日、7月26日及び8月9日に、諏訪湖の湖岸で羽化殻調査を実施し、合計112の羽化殻を確認した。羽化殻は8月の調査では少なくなり、主に7月中下旬にかけて羽化しているものと推察された。また、木製の棧橋に多く確認できたこと等、生態系保全の手法の検討に資する情報収集ができた。</p> <p>8月30日、9月11日及び9月29日には、宮川沿い約1kmを往復して成虫モニタリングを実施し、メガネサナエの生息を確認し、保全につながるデータの集積ができた。</p> <p>令和6年1月10日には、有識者や関係課が参集し、保全手法(啓発方法・内容含む。)の検討を行った。また、7月18日及び11月21日には、諏訪市内の小中学校の児童・生徒を対象に、メガネサナエについて解説を行い、それぞれ15名、73名の参加があった。これらにより、メガネサナエの保全に向けた機運の醸成を推進することができた。</p>						
今後の方向性	引き続きモニタリングを継続的に実施し、生態系保全のための手法を検討するとともに、保全に向けた啓発を行い、ビジョンに掲げる「多種多様な生き物を育む湖」の実現を目指す。						